第十六回帝國議會　貴族院議事速記錄第十八號

明治三十五年二月二十八日（金曜日）

午前十時九分開議

議事日程　第十八號　明治三十五年二月二十八日

午前十時開議

第一　請願委員長報告

第二　砂糖消費稅法中改正法律案（政府提出衆議院送付）　第一讀會

第三　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第四　商業會議所法案（政府提出衆議院送付）　第一讀會

第五　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第六　臺灣官設鐵道用品資金會計法案（政府提出衆議院送付）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第七　衆議院議員選擧人名簿ニ關スル法律案（政府提出衆議院送付）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第八　輸入原料砂糖戻稅法案（衆議院提出）　第一讀會

第九　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第十　外國領海水產組合法案（衆議院提出）　第一讀會

第十一　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第十二　議院法中改正法律案（衆議院提出）　第一讀會

第十三　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第十四　市會町村會議員ノ選擧人等級ニ關スル法律案（男爵末松謙澄君提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第十五　郡費分賦ノ件ニ關スル法律案（男爵末松謙澄君提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第十六　舞鶴線鐵道速成ニ關スル請願　會議

第十七　富山直江津間鐵道速成ノ請願　會議

第十八　大家村ニ電信局開設ノ請願　會議

第十九　今市村ニ電信局開設ノ請願　會議

第二十　市山郵便局ニ電信局併置ノ請願　會議

第二十一　北海道鐵道速成ノ請願　會議

第二十二　足尾銅山鑛毒被害民救護ノ請願　會議

第二十三　京都鐵道急設ノ請願　會議

第二十四　青森開港ノ請願　會議

第二十五　波多村ニ區裁判所出張所設置ノ請願　會議

第二十六　非命ノ死人救護ノ請願　會議

第二十七　鐵道敷設法中第一期線ニ繰上ノ請願　會議

第二十八　商法中改正ノ請願　會議

第二十九　會計法竝會計規則改正ノ請願　會議

第三十　矢作川改修ノ請願　會議

第三十一　富山直江津間鐵道急設ノ請願　會議

第三十二　木曾長良揖斐三大川上流改修ノ請願　會議

第三十三　鐵道敷設法中追加ノ請願　會議

第三十四　羽越鐵道速成ノ請願　會議

第三十五　頓原村ニ電信局開設ノ請願　會議

第三十六　小串村ニ電信局開設ノ請願　會議

第三十七　有福村ニ區裁判所出張所設置ノ請願　會議

第三十八　日本郵船株式會社ノ神戸小樽間定期航路變更ノ請願　會議

第三十九　裁判所構成法中及民事訴訟法中修正ノ請願　會議

○議長（公爵近衛篤麿君）　是ヨリ報告ヲ致シマス

（猪木書記官朗讀）

去ル二十六日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ卽日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第二號）

明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）

明治三十四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第一號）

明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）

明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案（第五號）

同日衆議院提出家祿賞典祿處分法中改正法律案ハ本院ニ於テ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セル旨衆議院ヘ通知セリ

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ卽日內閣總理大臣ヲ經由シ

テ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

京都府下國界竝郡界變更法律案

課稅標準額及稅額計算ニ關スル法律案

營業稅法中改正法律案

同日左ノ政府提出案ヲ受領セリ

軍人恩給法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

海軍造船材料資金會計法案

明治二十九年法律第六十三號中改正法律案

昨二十七日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

粗製樟腦、樟腦油專賣法案

海底電信線保護萬國聯合條約罰則法律案

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法中改正法律案

明治三十三年度豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

明治三十三年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

明治三十三年度特別會計豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

明治三十三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

明治三十三年度清國事件費豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

同日同院ヨリ左ノ衆議院提出案ヲ受領セリ

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案

沖繩縣及東京府管內伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案特別委員會ニ於テ當選シタル委員長副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長　伯爵上杉茂憲君　副委員長　伯爵萬里小路通房君

○議長（公爵近衞篤麿君）　是ヨリ日程ニ移リマス、請願委員長報告

（伯爵德川達孝君演壇ニ登ル）

○伯爵德川達孝君　本日モ請願委員長ノ島津公爵ニハ御出席サレマセヌカラシテ、副委員長ノ私カラ御報告ニ及ビマス、前回卽チ去ヌル十二日ニ御報告ヲ申上ゲマシタ後ニ受領シタル所ノ請願書ハ六十二通ゴザイマス、文書表ハ第六回ヨリ八回マデヲ作製シテ既ニ議長ノ所マデ報告シテ置キマシタ、會議ハ二回開キマシタ、ソレカラシマシテ此四回ノ文書表中ノ第九十七號カラシマシテ第七回文書表ノ全部卽チ百八十六號マデヲ議了致シマシタ、其中院議ニ付スベキト議決シタ所ノ數ハ五十八件、卽チ六十四通ニナリマス、院議ニ付スルヲ要シナイト議決シタ所ノ數ハ二十三件デ、是ハ三十通ニナリマス、又同性質ノ法律案ガ出タタメニ議決ヲ見合セタモノガ六件ゴザイマス、ソレカラ審査未了ニ屬シテ居ルタメニ議決ヲ延期シタモノガ二件ゴザイマス、ソレカラモウ一ツハ此議院法ノ第七十條ニ依リマシテ却下シタル所ノ請願書ガ一件ゴザイマス、特別報告ハ第四號マデ作リマシテ議長ニ報告ヲ致シテ置キマシタ、本日ノ議事日程ニ載ッテ居ルモノハ特別報告ノ第三號ノ分デゴザイマス、前回ニ御報告申シタ際ニ未決ニナッテ居ッタ所ノ七通ト云フモノ、中ノ四通ハ院議ニ付スルヲ要セズト議決ニ及ビマシタ、其他ハ前回報告ノ理由ト同一ノ理由ニ依リマシテ議決ヲ見合セテ置キマシタ、右ノ通御報告ニ及ビマス、終ニ臨ンデ少シ正誤ヲ致シタイ所ガゴザイマスカラ、一言申シテ置キマス、特別報告ノ第三號ノ、卽チ今日ノ議事日程ニ載ッテ居ル所ノ、第三號ノ四十九頁ノ二行目ニ「電信局設置ノ件」ト斯ウゴザイマス、是ハ「小串村ニ電信局開設ノ件」ト申スノ誤デゴザイマスカラ、其御積デ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラシマシテ矢張同號ノ第五十六頁ノ九行目ニ「第十六號」トゴザイマスルノハ「第十六條」ノ誤デゴザイマス、ソレカラシマシテ五十七頁ノ七行目ニ「第四百三十五條」トゴザイマス所ノ「五」ノ字ハ「七」ト云フ字ノ誤デゴザイマスカラ、左樣御承知ヲ願ヒマス、第七回文書表ノ中ノ第百六十八號ニ「郡制第九條」ト云フコトガ書イテゴザイマスガ、其九條ハ「郡制第九十條」ノ誤デゴザイマスカラ、是モ左樣御承知ヲ願ヒマス

（伯爵上杉茂憲君發言ノ許可ヲ求ム）

○議長（公爵近衞篤麿君）　上杉伯爵ハ何デスカ

○伯爵上杉茂憲君　是ヨリ特別委員會ヲ開キタウゴザイマス、沖繩縣及東京府管內伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案ノ委員會デゴザイマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　宜シウゴザイマス、砂糖消費稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

（猪木書記官朗讀）

砂糖消費稅法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付

侯也

明治三十五年二月二十二日　衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

砂糖消費稅法中左ノ通改正ス

第十一條ヲ左ノ如ク改ム

第十一條ノ一　政府ノ承認ヲ受ケ砂糖、糖水又ハ酒精製造ノ原料トシテ製造場、稅關又ハ保稅金庫ヨリ引取ラルル砂糖及糖蜜ニハ消費稅ヲ課セス

前項ノ砂糖又ハ糖蜜ヲ引取ルトキハ其ノ稅金ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第一項ノ砂糖又ハ糖蜜ヲ引取リタル後六箇月以內ニ砂糖、糖水又ハ酒精ヲ製造セサルトキハ消費稅ヲ徵收ス

第四條第二項及第三項ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ適用ス

第十一條ノ二　第六條及第七條ノ規定ハ前條ノ砂糖又ハ糖蜜ノ引取及引渡ニ之ヲ適用セス

附則

本法施行前ニ於テ消費稅ヲ課セラレタル砂糖及糖蜜ヲ本法施行後ニ於テ砂糖、糖水又ハ酒精製造ノ原料トシテ使用スルトキハ仍從前ノ規定ニ依ル

（政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（若槻禮次郎君）　現行ノ砂糖消費稅法ニ於キマシテ、砂糖又ハ糖蜜ヲ以テ更ニ砂糖ヲ精製シマシタリ、或ハ酒精ヲ造リマスト云フト、造ッタ後ニ原料ニ致シマシタ砂糖ナリ糖蜜ナリノ消費稅ヲ戻シテ貰フト云フコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス、從テ一タビハ稅ヲ課シテ更ニ稅金ニ相當スル金額ノ下戻ヲスルト云フヤウナ二重ノ手數ヲ要スルコトニナッテ居リマスノデ、之ヲバ改正致シマシテ原料ニ供スル砂糖ナリ糖蜜ナリニハ初カラ稅ヲ掛ケナイ、斯樣致シマスト云フト稅ヲ取ルト云フ手數モ、又戻スト云フ手數モ省ケルト云フコトニナリマス故ニ斯樣ニ改正シタイ、但シ左樣致シマスト云フト、時ニ脫稅抔ノ虞ガアッテハナリマセヌカラ、ソレ相當ノ擔保ヲ取ルコトノ出來ルヤウナ規定ヲ設ケテ置キマシテ、取締ノ立チマスト同時ニ成ルベク手數ヲ簡略ニシタイト云フノガ本法改正ノ目的デゴザイマス、尙ホ衆議院ニ於テハ政府ノ提出案ニ對シテ附則ヲ設ケラレタノデアリマス、此附則ハ丁度法律改正ノ經過ノ場合ニ於テ營業者ノ折角持ッテ居リマス利益ヲ失ハシメナイタメニ附加ニナリマシタ修正デゴザイマスノデ、此衆議院ノ修正ハ至極相當ノ修正デゴザイマス故ニ、衆議院デ修正ニナリマシタヤウニ御協贊ヲ仰ギタイト考ヘマス

○伯爵德川達孝君　是カラ民法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスガ、退席シテ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵近衞篤麿君）　宜シウゴザイマス、御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　商業會議所法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

（猪木書記官朗讀）

商業會議所法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年二月二十五日　衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

商業會議所法

第一條　商業會議所ハ法人トス

第二條　商業會議所ノ地區ハ市ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲スコトヲ得

第三條　商業會議所ヲ設立セムトスルトキハ議員ノ被選舉權ヲ有スヘキ者三十人以上發起人ト爲リ發起ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ

第四條　發起人前條ノ認可ヲ受ケタルトキハ定款ヲ作リ議員ノ選舉權ヲ有スヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ設立ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ

第五條　商業會議所ハ設立ノ認可ヲ受ケタル日ニ於テ成立ス

商業會議所成立ノ後役員ノ認可アル迄ノ間必要ナル事務ハ發起人之ヲ行フ

第六條　定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　名稱、地區及所在地
二　議員ノ定數及其ノ選舉ニ關スル規定
三　役員ノ權限、選任及解任ニ關スル規定
四　會議ニ關スル規定
五　仲裁ニ關スル規定
六　庶務ニ關スル規定
七　會計ニ關スル規定
八　營造物ヲ設立シ又ハ管理スルトキハ其ノ管理ニ關スル規定

第七條　商業會議所ノ事務權限左ノ如シ

一　商工業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル方案ヲ調査スル事
二　商工業ニ關スル法規ノ制定、改廢、施行ニ關シ意見ヲ行政廳ニ開申シ及商工業ノ利害ニ關スル意見ヲ表示スル事
三　商工業ニ關スル事項ニ關シ行政廳ノ諮問ニ應スル事
四　商工業ノ狀況及統計ヲ調査發表スル事
五　商工業者ノ委囑ニ因リ商工業ニ關スル事項ヲ調査シ又ハ商品ノ產地價格等ヲ證明スル事
六　官廳ノ命ニ因リ商工業ニ關スル鑑定人又ハ參考人ヲ推薦スル事
七　關係人ノ請求ニ因リ商工業ニ關スル紛議ヲ仲裁スル事
八　農商務大臣ノ認可ヲ受ケ商工業ニ關スル營造物ヲ設立シ又ハ管理シ其ノ他商工業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル施設ヲ爲ス事

第八條　農商務大臣又ハ地方長官ハ商工業ニ關スル事項ノ調査ヲ商業會議所ニ命スルコトヲ得

第九條　帝國臣民又ハ帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ商業會議所ノ地區內ニ主タル營業所又ハ事務所ヲ有シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ議員ノ選舉權ヲ有ス但シ合名會社ニ在リテハ社員ノ半數以上、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ半數以上、株式會社ニ在リテハ取締役ノ半數以上帝國臣民タルコトヲ要ス

一　自己ノ名ヲ以テ商法第二百六十三條、第二百六十四條第一號、第三號乃至第六號及第八號乃至第十二號ニ掲ケタル行爲ヲ爲スコトヲ業トシ營業稅ヲ納ムル者
二　自己ノ名ヲ以テ製造及加工ニ關スル行爲ヲ爲スコトヲ業トシ營業稅ヲ納ムル者
三　取引所稅ヲ納ムル取引所
四　鑛業稅ヲ納ムル鑛業權者

前項納稅ノ額ニ關スル制限ハ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ商業會議所ノ地區內ニ營業所又ハ事務所ヲ有シ第一項各號ノ一ニ該當スルモノノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長、理事又ハ登記シタル支配人ニシテ所得稅ヲ納ムル帝國臣民ハ其ノ主トシテ職務ニ從事スル營業所又ハ事務所ノ所在地ニ於テ議員ノ選舉權ヲ有ス

前項納稅ノ額及法人ノ資本額又ハ財產ヲ目的トスル出資額ニ關スル制限ハ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ選舉權ヲ有セス

一　身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル時ヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者
二　剝奪公權者及停止公權者
三　禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル時ヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

第十一條　一人ニシテ同一商業會議所ノ議員ノ選舉ニ關シ二以上ノ選舉權ヲ有スルコトヲ得ス

第十二條　法人及年齡三十歲以上ノ男子ニシテ二箇年以來議員ノ選舉權ニ關スル要件ヲ具備スル者ハ議員ノ被選舉權ヲ有ス但シ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員帝國臣民タルコトヲ要ス

第十三條　第十條各號ノ一ニ該當スル者竝禁治產者及準禁治產者ハ被選舉權ヲ有セス

第十四條　議員ノ定數ハ五十人以下トス

第十五條　商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エサル特別議員ヲ命スルコトヲ得

特別議員ハ決議ニ加ハルコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

特別議員ハ年齡三十歲以上ノ帝國臣民タル男子ニシテ商工業ニ關スル學

術、技藝又ハ經驗アル者タルコトヲ要ス

第十六條　議員ノ選舉ニ關シテハ議員ノ選舉ニ關スル規定ヲ準用ス

議員選舉人ノ選舉ニ關シテハ議員ノ選舉ニ關スル規定ヲ準用ス

第十七條　議員ノ選舉事務ハ地方長官ノ命シタル選舉委員之ヲ行フ其ノ費用ハ商業會議所ノ負擔トス

地方長官ハ選舉事務ヲ監督ス

第十八條　議員ノ選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フヘシ但シ法人、女子及無能力者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ代人ヲ以テ之ヲ行フ

第十九條　議員及議員選舉人選舉ノ方法、手續及取締ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條　議員當選者ハ地方長官、議員ハ會頭ニ於テ正當ノ事由アリト認メタル場合ヲ除クノ外商業會議所ノ決議ヲ經ルニ非サレハ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第二十一條　議員タル法人ハ其ノ代表者ヲ定ムヘシ

代表者ハ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長又ハ理事ニシテ年齡三十歲以上ノ男子タルコトヲ要ス

第十三條ニ該當スル者ハ代表者タルコトヲ得ス

第二十二條　一人ニシテ同一商業會議所ニ於テ二以上ノ法人ノ代表者ト爲リ又ハ議員ト代表者トヲ兼ヌルコトヲ得ス

第二十三條　議員及特別議員ハ無給トス

第二十四條　議員ノ任期ハ四箇年トシ二箇年毎ニ其ノ半數ヲ改選ス若シ二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ改選ス

初回ノ改選期及滅員ノ場合ニ於テ解任者ヲ定ムル方法ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條　補闕議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

增員議員ノ任期ハ現任者ノ任期ヲ超ユルコトヲ得ス

議員增減ノ爲必要ナル任期ノ異動ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條　特別議員ハ議員ノ半數改選期毎ニ解任ス

第二十七條　議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ

第二十八條　商業會議所ニ左ノ役員ヲ置ク

會頭　一人

副會頭

會頭ハ商業會議所ヲ統轄シ其ノ事務ヲ擔任シ會議ノ議長ト爲リ商業會議所ヲ代表ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ會頭事故アルトキハ之ヲ代理ス

商業會議所ニハ定款ノ定ムル所ニ依リ會頭副會頭ノ外必要ナル役員及事務員ヲ置クコトヲ得

役員ハ議員中ヨリ之ヲ互選シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

役員ニシテ議員ノ職ヲ失ヒタルトキハ解任ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ後任者ノ認可アル迄其ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十九條　商業會議所ハ商工業ノ狀況及統計ノ調査ノ爲必要ナル材料ノ提出ヲ商工業者ニ請求スルコトヲ得

第三十條　商業會議所ノ經費ハ議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ於テ之ヲ負擔ス

選舉權ヲ停止セラレタル者ハ停止中ト雖經費ヲ負擔ス

第三十一條　商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料若ハ手數料ヲ徵收シ又ハ寶費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

前項ノ收入ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十二條　商業會議所ハ其ノ決議ヲ以テ職務ヲ怠リ其ノ他不正ノ行爲アリタル議員ニ二百圓以下ノ過怠金ヲ課シ又ハ之ヲ除名スルコトヲ得

第三十三條　經費又ハ過怠金ヲ滯納シ督促ヲ受クルモ尙之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ徵收金ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付時效ニ關シテハ國稅ノ例ニ依ル

滯納處分ハ滯納者住所地ノ市參事會、町村長之ヲ行フ

第三十四條　商業會議所ハ滯納又ハ除名ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ決議ヲ以テ四箇年以內選舉權及被選舉權ヲ停止スルコトヲ得

第三十五條　左ノ決議ハ議員三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

一　定款變更ノ決議

二　第三十二條、第三十四條及第四十二條第一項ノ決議

前項ノ決議及經費ノ豫算、賦課徵收方法ノ決議ハ農商務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十六條　商業會議所ハ經費ノ決算ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

商業會議所ハ每年少クトモ一回其ノ事業成蹟ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第三十七條　商業會議所解散ノ決議ハ議員總數ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ決議ハ農商務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十八條　商業會議所ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ尙存續スルモノト看做ス

第三十九條　商業會議所解散シタルトキハ其ノ決議ヲ以テ清算人ヲ選任スヘシ清算人缺ケタルトキ亦同シ

清算人ヲ選任シタルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第四十條　前條ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ地方長官清算人ヲ選任ス

第四十一條　清算人ハ商業會議所ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第四十二條　清算人ハ清算及財產處分ノ方法ヲ定メ商業會議所ノ決議ヲ經ヘシ

商業會議所前項ノ決議ヲ爲サス又ハ爲スコト能ハサルトキハ清算人ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ清算及財產處分ノ方法ヲ定ムヘシ

第四十三條　商業會議所ハ解散ノ後ト雖其ノ債務ヲ完濟スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

前項ノ賦課徵收ニ關シテハ第三十條及第三十三條ノ規定ヲ準用ス

第四十四條　農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ定款、經費ノ豫算及賦課徵收方法、清算及財產處分方法ノ變更ヲ命シ其ノ他必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　議員ノ選舉、商業會議所ノ決議、行爲又ハ役員、清算人ノ行爲ニシテ法令若ハ定款ニ違背シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ農商務大臣ハ選舉若ハ當選ノ取消、役員、清算人、議員若ハ特別議員ノ停職若ハ解任、商業會議所ノ決議、行爲若ハ役員、清算人ノ行爲ノ停止若ハ取消又ハ商業會議所ノ解散ヲ命スルコトヲ得

農商務大臣ハ前項ニ依リ解任セラレタル議員又ハ役員及不正ノ行爲ニ因リ當選ヲ取消サレタル者ニ對シ四箇年以內選舉權及被選舉權ヲ停止スルコトヲ得

第四十六條　選舉權及被選舉權ヲ停止セラレタル者ハ其ノ停止中議員、特別議員又ハ法人ノ代表者タルコトヲ得ス

第四十七條　農商務大臣ハ本法ニ規定シタル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第四十八條　本法中市町村、市參事會、町村長ニ關スル規定ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

附則

第四十九條　本法ハ明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

商業會議所條例ハ之ヲ廢止ス但シ同條例ニ依リ設立シタル商業會議所ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外第五十二條ノ認可ヲ受クルニ迄其ノ效力ヲ有ス

第五十條　商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ニシテ本法施行後繼續セムトスルモノハ本法ノ規定ニ從ヒ議員ノ定數、選舉方法其ノ他選舉ニ關スル必要ナル規定ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ明治三十六年三月三十一日迄ニ議員ノ選舉ヲ爲スヘシ

前項ノ選舉及之ニ依リ選舉セラレタル議員ニ關シテハ本法及本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ヲ適用ス

第五十一條　商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ノ會員及特別會員ニシテ本法施行ノ際其ノ職ニ在ル者ノ任期ハ前條第一項ノ選舉終了ノ日迄トス

第五十二條　第五十條第一項ノ選舉ニ當選シタル議員ハ選舉終了ノ日ヨリ三十日以內ニ本法ノ規定ニ從ヒ定款ヲ議定シ及役員ヲ選任シ農商務大臣ノ認可ヲ申請スヘシ

商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ハ第二條ノ規定ニ拘ラス從前ノ地區ニ依ルコトヲ得

第五十三條　商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ノ役員ノ任期ハ前條第一項ニ依リ選任シタル役員認可ノ日迄トス

第五十四條　商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ニシテ第五十二條第一項ノ認可ヲ受ケタルモノハ本法ニ依リテ設立シタルモノト看做ス

商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所第五十條第一項又ハ第五十二條第一項ニ定メタル手續ヲ爲ササルトキハ解散シタルモノト看做ス此

ノ場合ニ於テハ第三十八條乃至第四十五條ノ規定ヲ適用ス

（政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（安廣伴一郎君）　現行ノ商業會議所條例ハ明治二十三年ニ制定致シマシタモノデゴザイマシテ、其後二十八年ニ一部ノ改正ガゴザイマシタガ、其後ニ至リマシテ、商法ノ改正デゴザイマストカ、營業稅法ノ制定デゴザイマストカ、商業會議所條例ト密著ノ關係ヲ有シテ居ル諸ノ法律ガ發布ニナリマシテ自ラ商業會議所條例ノ改正ヲスルコトノ必要ヲ認メマシタノデゴザイマス、殊ニ商業會議所ノ組織デゴザイマストカ、權限及經費ノ徵收方法等ノコトニ至ッテハ現行ノ法律ニ不備ナ點モ少クナイコトデゴザイマシテ、政府ニ於テモ之ヲ修正スルノ必要ヲ認メテ居ルノミナラズ、各地ノ商業會議所ヨリモ皆建議ガ出マシテ修正ヲ希望致シマシタ、其意見等ヲ斟酌致シマシテ調査ノ結果、茲ニ修正案ヲ作リマシテ提出シマシタノデゴザイマス、衆議院ノ方ニ於テ少シノ修正ガゴザイマシタガ、是ハ皆政府ハ同意シテ居リマス、御協贊アランコトヲ希望致シマス

○村田保君　本員ハ政府委員ニ質問致シタウゴザイマス、第一ニ商業會議所ノ建議ヲ參酌シタト云フコトデゴザイマスガ、此法案ヲ制定ニナリマスル際ニハ各商業會議所ヘ諮問ニデモナリマシタコトデゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ、成ル程此制定ハ明治二十三年デゴザイマシタ、本員抔ハ丁度元老院ニ居リマスル時分デ隨分喧マシイ問題デアッタノデアリマス、其時分ニ民間ニモ段々議論モゴザイマシテ、歐米各國ニ於キマシテモ商工業ノ最モ盛ナルハ、英吉利、亞米利加ノ如キ商工業ノ盛ナ國ハナイ、是等ノ國ノ商業會議所ト云フモノハ決シテ法律抔ヲ以テ、サウシテ壓制的ニスルヤウナコトハナイ、皆自由ニ任シテアルカラ斯ノ如ク商工業ガ盛ニ興ルノダト云フコトデゴザイマシテ、其時分ニハ斯ウ云フコトハ法律デ定メナイガ宜イト云フコトノ民間ニ段々論ガアッタノデゴザイマスガ、今回ハ如何デゴザイマスカ、殆ド全國ノ商業會議所ト云フモノハ六十近ク モ出來テ居ルノデスガ、ソレ等ニ諮詢ニデモナリマシタカ、或ハ諮詢ニナリマセヌデモ、建議抔ガ出マシタ時分ニ唯今本員ノ申スヤウナ法律ヲ以テ斯ウ云フコトハシナイヤウニト云フ論ガ多少アリハシナイカ、サウ云フ論ガゴザイマシタナラバ會議所カラ或ハ建議デ幾箇所程サウ云フ建議ガ出タデアラウカ、或ハ又諮詢ニナッタナラバドウ云フ答ヲシタカト云フコトヲ第一ニ伺ヒタイ、ソレカラ第二ニハ衆議院ニ於キマシテ修正ニナリマシタ、衆議院ノ修正ハ此第三十五條ノ末項ヘ參リマシテ「前項ノ決議及經費ノ豫算、賦課徵收方法」ト云フコトガ、三十五條ノ第二號ニゴザイマシタノヲソレヲ削リマシテ末項ヘ衆議院デ加ヘタ、是ハ何故ニ衆議院デ之ヲ變ヘタカト思ヒマシテ衆議院ノ理由ヲ見マセウト思ヒマシテ委員會ノ速記錄ヲ見マシタガ、チヨットモ譯ガ分ラナイ、實ニ藪カラ棒ノヤウナ提出ニナッテ末項ニ加ヘルコトヲ提出スル、贊成々々ト云フコトデ何ノ主意ヲ以テ設ケタヤラ分ラナイ、ソレカラ本會ノ議事速記錄ヲ見マスト、委員長カラノ修正ノ理由ハ重過ギルト斯ウ言ッタギリ、ソレハ何ガ重過ギルヤラ少モ譯ガ分ラナイ、ソレデ本員抔ノ見マス所ハドウモ是ハ政府案ノヤウニシテ置ク方ガ當然デアッテ、末項ヘ加ヘルト云フコトハ、ドコカラコンナコトガ出テ來タカ、如何ニモ解釋ニ苦ムノデス、ソレノミナリマセズ本囘ハ經費ヲ納メナイ者ハ國稅滯納處分ヲスルト云フノデス、身代限マデモスルト云フノデスカラ容易ナラヌコトデアル、又サウ云フモノヽ、決議ト云フモノハ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルナント云フコトハ最モ必要ナコト、思ヒマスガ、之ヲ削ッテ仕舞ッテ末項ヘ入レタト云フコトハ譯ガ分ラヌト思ヒマス、併ナガラ政府ハ同意ヲシテ居ルト云フコトガ速記錄ニモゴザイマスガ、政府ガ同意サレタト云フ理由ハ衆議院ノ唯重過ギルナント云フ主意デハアルマイト思ヒマスガ、政府ガ何ゾ此處ヘ置イテ宜シイト云フ主意ガアルナラ伺ヒタイ、本員ハ此案ニ反對デハナイカラ、チヨット御斷ヲシテ置キマス、本員ハ成ル程二十三年以來ノ經驗ニ依リマシテ今度ノ修正ハ適當デナイトハ認メテ居ラヌガ、中ニハ主意ノドウカト思フコトモゴザイマスガ、併シ全體ハ大變宜クナッタト思ヒマス、ソレダケヲ申シテ置キマス

○男爵楫取素彥君　委員會ヘ出テ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵近衞篤麿君）　宜シウゴザイマス

（政府委員木内重四郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（木内重四郎君）　全國ノ各地商業會議所カラ現行ノ條例ハ不備デアルカラ適當ノ改正ヲシテ貰ヒタイト云フ建議ハ屢出マシテ、其意見ハ殆ド全部ト申シテ宜シイ位採用シテゴザイマス、此新法案ニ於テハ……併ナガラ斯ノ如ク各地ノ商業會議所ノ意見ヲ新法案ニ採用致シテ居リマスルカラ議會ニ提出スルニ先ッテ殊更ニ諮問ヲスル必要ガナイト認メマシテ、別ニ諮問ト云フ手續ハ致シマセヌデシタ、而シテ英吉利ナリ或ハ亞米利加ナリニ行レテ居ルヤウナ法律ニ依ラナイ私立ノモノニシタ方ガ宜イト云フ御議論ハ、是ハ村田サンノ御議論デハアリマスマイガ、サウ云フ議論ガ昔元老院抔ニ在ッ

タト云フ御話、ソレハ今日ト雖モ民間ニアルノデスケレドモ、ソレハ極ク少數ノ議論デアッテ、多數ノ者ハ法律ニ依ラナケレバナラヌト云フ意見デアリ、殊ニ全國五十八ノ商業會議所ニ於テ一トシテ任意設立ヲ可トスルト云フ意見ハゴザイマセヌ、總テ法律ニ依ッテ貰ヒタイ、而モ法律中經費ノ滯納處分ガ今日ノ現行法ニ缺ケテ居ルカラ市町村制ノ如ク國稅徵收法ノ規定ヲ適用スルヤウニシテ貰ヒタイト云フ希望ハ總テカラ出テ居リマス、ソレカラ第二ノ御質問ノ本案ノ第三十五條一項ノ二號ヲ削ッテ末項ニ斯ウ云フコトヲ加ヘタノハドウ云フ次第デアルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ衆議院ニ於テハ經費ノ豫算ナリ、或ハ賦課徵收方法ノ決議ハ無論政府ノ主張スルガ如クニ大切ナコトニハ違ヒナイケレドモ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ガナケレバナラヌト云フ規定ハ事實ニ於テ迷惑ヲスル、出席ガ三分ノ二デ三分ノ二ノ同意ガナクテハナラヌト云フコトヲ法律ニ定メラレテモ、過半數ハアルケレドモ三分ノ二ニハ充タヌコトガアル、サウナルト經費ノ豫算モ定ムルコトガ出來ズ、賦課徵收方法モ定ムルコトガ出來ヌノデ非常ニ迷惑ヲスルカラ、ソレダケハ削ッテ貰ヒタイ、但シ農商務大臣ノ認可ハ勿論必要ト云フコトヲ衆議院ニ於テモ認メテ、其方ハ削ッテハ不都合デアラウカラト云フノデ末項ニ其文字ヲ置キマシタノデアリマス、併ナガラ其議決ノ方法ハ法律文中カラ取ッテ仕舞ッテドウスルカト云フ御質問モアリマセウガ、ソレハ定款ニ讓リマシテ、政府ニ於テハ三分ノ二以上ノ出席ヲ以テ其過半數デ定メタラ、ソレデ宜シイト云フコトヲ認メテ居リマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　此特別委員ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　臺灣官設鐵道用品資金會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

（左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

臺灣官設鐵道用品資金會計法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年二月二十六日

右特別委員長

伯爵廣澤金次郎

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

○子爵谷干城君　本日ハ二ツ程委員會ガゴザイマスカラ是カラ開キタイト思ヒマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　宜シウゴザイマス

（伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル）

○伯爵廣澤金次郎君　唯今議題ニナリマシタ臺灣官設鐵道用品資金會計法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道致シマス、本案ノ政府カラ提出サレマシタ理由ハ本案ノ仕舞ヒニアリマスル理由書ニアリマスル通デ、詰リ臺灣ノ縱貫鐵道ノ今日漸々進行ヲ致シマスルニ從ヒマシテ、內地及北海道ニアリマス鐵道用品資金會計法ノ如キモノヲ設ケテ物品買溜ノ便利ヲ與ヘテ益〻鐵道ノ進行ヲ捗ラシメルト云フノガ理由デアルト云フコトデアリマス、委員會ニ於キマシテハ此臺灣ノ鐵道ノ事ニ附イテハ隨分鐵道ノ程度及臺灣ノ鐵道ノ內地ノ經濟社會ニ及ス關係ニ附イテハ十分ニ質問モアリマシタ、其質問ヲ致シマシタ所ノ材料ニ依ッテ申シマスレバ臺灣ノ縱貫鐵道ハ總テ出來マスルト二百五十餘哩デアリマス、其中既ニ出來テ居ルモノ卽チ既設ノ鐵道ハ百四十餘哩デアリマシテ、今後敷設スベキモノ卽チ半分ハマダ未成ニ屬シテ居ルノデアリマス、而シテ三十四年度マデニ此百四十餘哩ヲ建設スルタメニ支出シタ金額ハ九百萬圓デ、將來殘ル鐵道ヲ完成スルタメニハ二千八百八十萬圓ノ金ヲ支出シテ縱貫鐵道ヲ落成セヌケレバナラヌト云フ仕事ガ殘ッテ居ルノデアリマス、此殘部ノ鐵道ハ益〻內地ノ方デアリマシテ益〻困難ナル鐵道デアルサウデアリマス、故ニ既ニ鐵道ノ斯ノ如ク進行致シマス……又益〻進行シツヽアリマスル今日ニ於テハ、既ニ內地ニハ官設鐵道用品資金會計法ト云フモノガアリ、北海道ニモ北海道官設鐵道用品資金會計法ナルモノガアリマシテ、各〻鐵道ノ用品ヲ一時ニ買溜メテ、ソレカラシテ必要ニ應ジテ鐵道ノ經費ヨリ買上ゲテ鐵道ノ建築修築上ニ用井ル便宜ノ方法ガアリマスル ニ依ッテ、臺灣ニ於テモ丁度內地及北海道ノ如キ方法ヲ採用スルノ必要ガアルト云フノデ本案ヲ提出サレタサウデアリマス、ソレデ此案ハ右ノ次第デアリマシテ、內地ノ官設鐵道用品資金會計法及北海道官設鐵道用品資金會計法ト其條項ニ於テモ同ジキモノデアリマス、唯本案ノ第三條ハ前ニ申シタ二ツノ法案ニハアリマセヌ、併ナガラ此三條ノ意味ハ北海道官設鐵道用品資金會計法及內地ノ官設鐵道用品資金會計法ニ於キマシテハ單行法ヲ以テ此三條ト同ジ法律ガ出テ居ルノデアリマス、卽チ二十九年ノ二月ノ法律ヲ以テ此三條ト同ジモノガ出テ居リマス、唯此臺灣ノ鐵道用品資金會計法ヲ制定サレマスルニ附イテハ單行法ヲ以

テ二度出ス必要ハナイカラシテ、卽チ內地ニ於ケル單行法ノ意ヲ本案ニ附ケテ之ヲ一ツノモノトシテアルノデアリマス、此委員會デ議論ノアリマシタノハ附則デアリマス、此附則ニハ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、前ニ申シマシタ所ノ內地ノ鐵道用品資金會計法及北海道官設鐵道用品資金會計法ニ於キマシテハ何年度ヨリ施行スルト云フコトニシテアリマス、卽チ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フコトニナッテハ居リマセヌデ、會計年度ノ都合ニ依ッテ或ハ三十年度ヨリ施行スルトカ三十一年度ヨリ施行スルト云フコトニナッテ居リマス、其他此種類ノ陸軍ノ作業會計資金法其他特別會計ニ屬スルモノハ多クハ何年度ヨリ施行スルト云フコトニナッテ居ッテ、年度ノ始ヨリ施行スルノガ通例デアリマス、所ガ本案ニ於キマシテハ其通則ヲ破ッテ施行ノ期日ヲ勅令ヲ以テ定メマスルノハドウ云フ譯カト云ッテ政府ニ質問ヲ致シマシタ處ガ、是ハ臺灣ノコトデアリマスルカラシテ此法案ヲ施行スル前ニ鐵道ノ會計上、細則ヲ設ケル必要モアリ、且ツ又臺灣鐵道ノ會計整理ノ必要モアルノデ、政府ノ精神ハ成ルベク年度始ノ四月一日カラ實行スル積デハアリマスルケレドモ、或ハ四月一日ニハ實行ガ出來ヌカモ知レヌニ依ッテ、其精神ハ四月一日ヨリノ積デアルケレドモ、此場合ニ於テ萬々一ノ場合ヲ慮ッテ勅令デ施行期日ヲ定メルト云フコトニナッテ居ル次第デアリマス、序ニ申シマスガ、第二條ニ五十萬圓ト云フコトガアリマスガ、旣ニ政府ヨリ衆議院ヘ追加豫算ヲ提出サレマシテ、三十五年度ニ於キマシテハ二十萬圓デ始メルコトニナルサウデアリマス、此二十萬圓ヲ一年ニ二回運轉スル方法ヲ取レバ卽チ二十萬圓ガ三回デ六十萬圓程ノ仕事ガ出來ルト云フ次第デアルサウデアリマス、デ委員會ニ於キマシテ審査致シマシタ所ハ先ヅ右申ス通ノ次第デアリマス、要スルニ本案ハ臺灣ノ鐵道進行ニ從ヒマシテ臺灣鐵道ノ修築上ノ材料ヲ一時ニ買込ム必要ガアッテ本案ヲ提出サレタノデゴザイマスカラ、委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、何卒本會ニ於キマシテモ委員報告ノ通可決アランコトヲ希望致シマス

○村田保君　此法案ニ附イテハ皆サンニ於テモ御異論ハナカラウト思ヒマスカラ讀會省略ヲ以テ速ニ可決アランコトヲ望ミマス

○伯爵大原重朝君　贊成

○色部義太夫君　贊成

○中島永元君　贊成

○伯爵日野資秀君　贊成

○伯爵廣澤金次郎君　贊成

○伯爵吉井幸藏君　贊成

○伯爵正親町實正君　贊成

○男爵本多副元君　贊成

○關義臣君　贊成

○伊澤修二君　贊成

〔此他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衞篤麿君）　讀會省略ノ動議ニ定規ノ贊成ガアリマシタ、讀會省略ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長（公爵近衞篤麿君）　三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、本案御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衞篤麿君）　衆議院議員選擧人名簿ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ揭載ス〕

衆議院議員選擧人名簿ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年二月二十六日

右特別委員長

伯爵坊城俊章

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

〔伯爵坊城俊章君演壇ニ登ル〕

○伯爵坊城俊章君　諸君、衆議院議員選擧人名簿ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ結果ヲ報告致シマス、此委員會ニ於キマシテハ調査ノ末、可決スベキモノナリト云フ都合デ卽チ可決致シマシタ、抑〻此理由ハ御手許ヘモ出テ居リマスルヤウナ簡單ナ理由デゴザイマシテ、詰リ此本年ノ四月一日ニ調製シタモノガ卽チ六月十五日ヨリ效力ヲ發スルト云フノデゴザイマス、ソレヲ本年ハ新選擧法ニ據ルノデゴザイマス、デ僅ノ間、日ニチヲ延ストニ云フノデゴザイマス、抑〻日ニチハ未ダ發布ニナッテ居リマセヌケレドモ八月中旬頃ノ見込デヤサウデゴザイマスカラ、六月十五日ヨリ八月中旬頃マデノ日數ヲ延ベ

ルノデゴザイマス、ソレモ補闕選擧ガゴザイマセヌケレバ此必要ハナイノデ、詰リ補闕選擧ノタメニ日數ヲ延スノデアリマス、サウ云フ簡單ナ案デゴザイマス故ニ調査ノ末差支ハナイト委員會ニ於キマシテハ認メマシタカラ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、何卒本議場ニ於キマシテモ速ニ通過アランコトヲ希望致シマス、終ニ臨ンデ一言希望致シマスルガ別段御異議モゴザイマセヌコトナラバ、ドウゾ各讀會ヲ省略サレマシテ速ニ通過アランコトヲ希望致シマス

○伯爵大原重朝君　贊成

○田中源太郎君　贊成

○角田林兵衞君　贊成

○山田卓介君　贊成

○男爵本田親雄君　贊成

（其他「贊成」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　讀會省略ノ動議ハ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

（起立者　多數）

○議長（公爵近衞篤麿君）　三分ノ二以上ト認メマス、本案御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

（「異議ナシ」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　輸入原料砂糖戻稅法案、衆議院提出、第一讀會

（猪木書記官朗讀）

輸入原料砂糖戻稅法案

右本院提出案及送付候也

明治三十五年二月二十二日　　衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

輸入原料砂糖戻稅法

第一條　輸入ノ砂糖ニシテ和蘭標本色相第十四號以下ノモノヲ原料トシ政府ノ承認ヲ得テ精製糖及氷砂糖ヲ製造スル者ハ其ノ原料ニ對シ納付シタル輸入稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

輸入原料砂糖戻稅法

第一條　輸入ノ砂糖ニシテ和蘭標本色相第十四號以下ノモノヲ原料トシ政府ノ承認ヲ得テ精製糖及氷砂糖ヲ製造スル者ハ其ノ原料ニ對シ納付シタル輸入稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第二條　前條ニ依リ金額ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ輸入稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

附　則

本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行シ同日以後輸入稅ノ賦課ヲ受ケタル原料砂糖ニ之ヲ適用ス

（政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（若槻禮次郎君）　唯今問題ニナリマシタ法律ガ成立致シマスト云フト政府デ計算致シマシタ所デハ凡ソ十五萬圓バカリノ輸入稅金ヲ下戻サヌケレバナラヌコトニナリマス、然ルニ唯今ノ所デハ既ニ此十五萬圓ニ對スル收入ト云フモノガゴザイマセヌカラ、此法律ノ施行ニハ三十五年度ニ於テハ甚ダ差支ヘルノデゴザイマス、尚ホ三十五年度ニ限リマセズ十五萬圓ノ下戻稅ヲ致シマスト云フコトガ卽チ外國砂糖ヲ原料ニ使ヒマス製糖業者ノ保護ニナルノデアリマスカラ、是ガ外國糖ノ保護ニナル金額ニナルノデゴザイマス、從テソレダケハ內地ノ砂糖耕作者ノ如キハ競爭上ニ不利益ヲ受ケルヤウニナリマスノデ、本案ニハ政府ハ同意ヲ表シテ居リマセヌ、是ダケ申上ゲテ置キマス

○村田保君　チヨット政府委員ヘ伺ヒタイ、ドウゾ演壇ニ御留リヲ願ヒタイ、此法案ニ附キマシテ衆議院ノ方ノ委員會ノ速記錄ヲ段々見マスト云フト政府委員ハ內地ノ砂糖ニ非常ニ影響ヲ及ス、影響ヲ及スト云フコトヲハ政府委員ハ述ベラレテ居ル、所ガ衆議院議員カラ段々詰メラレテ明細ナル答ガ出來ナイ、サウシテ遂ニ……丁度ソレハ十九日ノ速記錄ヲ見マスト遂ニ目賀田政府委員ハ、ドウモ此調ハ分ラヌカラ明日ニ讓リタイ、明日マデ調ベタ上、御答ヲスルト云フコトニナッテ居リマス、所ガ翌日ニナッテ目賀田君ハ出ラレヌデ卽チ若槻君ガ出ラレテ、サウシテ代ッテ辯セラレタ、ケレドモ遂ニ要領ヲ得ナイヤウナ速記錄ガアル、ソレデ此中ニ斯ウ云フコトモアルノデス、是ダケ確メテ置キタイ、或ル委員ガ「昨日目賀田政府委員ハ此本案ニ對シテ初ハ種々主張サレマシタガ段々質問ノ結果了解サレマシテ和蘭標本色相第十四號以下ノモノデアルナラバ敢テ私ノ方デ反對ハシナイト云フコトヲ述ベラレマシタ以上ハ、政府委員モ絕對的反對デナイト思ヒマス」ト云フノデ、ソレ故ニ斯ウ云フ字ヲ加ヘタラ宜カラウト云フノデ、此和蘭標本色相第十四號以下ト云フコトヲ加ヘテ居ル、ソレニハ政府委員モ反對ガナイト云フコトニナッテ居リマスガ、サウスルト唯今政府委員ノ言ハレル所ト衆議院ノ速記錄ト大分

違ッテ居リマスカラ其事實ヲ確メタイ、是ハ稅ヲ免除シマセヌト二重稅ト爲リハセヌカ、二重稅ト爲ッテハ餘リヒドカラウト思ヒマス、ソレダケヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員（若槻禮次郎君）　衆議院ノ委員會ニ於ケル政府ノ答辯ガ要領ヲ得ヌト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ數字ニ至ッテハ唯今調ベタモノガナイ故ニ此次ニ御答スルト政府委員ガ答ヘテ其次ノ委員會ニ數字ガ、多分速記錄ニモ上ッテ居ルト思ヒマスガ私カラ答ヘテアリマス、和蘭標本色相第十四號ノコトヲ入レルノハ如何カト云フコトデアッタカラ、ソレハ斯ウ云フ法律ガ成立ツコトデアレバ入レタガ宜カラウト云フダケノコトデ、元來此法律ノ成立シマスコトハ望ミマセヌ、併シ若シ成立スルナラバ少クトモソレヲ入レラレタラバ宜カラウト云フコトヲ目賀田政府委員ガ答ヘラレタノデアルト思ヒマス、ソレカラモウ一ツノ御尋ハチョット忘レマシタガ、何デゴザイマシタカ

○村田保君　二重稅ノコトデアリマス

○政府委員（若槻禮次郎君）　二重稅ニナリマセヌノデゴザイマス、ト云フノハ輸入稅ト云フノハ外國カラ這入ッテ來マス際ニハ特例ノナイ限ハ皆掛ケルコトヽナッテ居リマスカラ其輸入稅ガ掛リマス其砂糖ヲ原料ニシテ製造シタモノニ消費稅ヲ掛ケルノハ消費稅デ、輸入稅トハ關係ハゴザイマセヌ、輸入シマス際ニ輸入稅ノ外ニ消費稅モ取リマスガ、此消費稅ハ下戻スコトニナッテ居リマス、尚ホ議場ニ上ボリマシタ砂糖消費稅法中改正法律案ニ依ッテ是カラ以後ハ取ラヌコトニナリマスノデ、消費稅ト輸入稅ガ二重ニナルコトハナイト思ヒマス、消費稅ト別ノ關係ニナッテ居リマスカラ二重稅ト云フコトハ起リマセヌ

○議長（公爵近衞篤麿君）　此案ノ委員ハ議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○伯爵廣澤金次郎君　本案ハ砂糖稅ノ案デアリマスカラ議事日程ノ第二ノ委員ト同一委員ニ付託ニナリマシテハ如何デスカ

○議長（公爵近衞篤麿君）　今モウ決定致シマシタ、外國領海水產組合法案、衆議院提出、第一讀會

〔猪木書記官朗讀〕

外國領海水產組合法案

右本院提出案及送付候也

明治三十五年二月二十二日　衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

外國領海水產組合法案

第一條　條約又ハ許可ニ依リ外國領海ニ於ケル水產動植物ノ採捕其ノ製造又ハ販賣ヲ業トスル帝國臣民ハ本法ニ依リ水產組合ヲ設置スルコトヲ得

第二條　組合ノ區域ハ利害關係アル營業區域又ハ住所區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ

第三條　組合ヲ設置セムトスルトキハ其ノ區域內ニ於ケル同業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ外務農商務兩大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ二種以上ノ營業者相集リテ組合ヲ設置セムトスルトキハ各種營業每ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

第四條　組合ノ區域內ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ但シ營業上特別ノ情況ニ依リ外務農商務兩大臣ニ於テ加入ノ必要ナシト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　組合ノ設置アリタルトキハ組合、組合聯合會又ハ組合員ノ名ヲ以テスルノ外他人ノ名義ニ依ルト他人ニ雇ハルル者トヲ問ハス組合ヲ組織セル營業者ト同一種類ノ營業ニ從事スルノ目的ヲ以テ組合ノ營業區域ニ渡航シ又ハ船舶若ハ漁具ヲ廻送スルコトヲ得ス但シ前條但書ニ依リ加入セサル者ハ此ノ限リニ在ラス

第六條　第四條ノ規定ニ違背シタル者ハ五十圓以下ノ過料ニ處ス

前項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第七條　第五條ノ規定ニ違背シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條　組合及組合聯合會ニ關シテハ本法ニ規定アルモノノ外重要物產同業組合法ノ規定ヲ準用ス但シ同法中農商務大臣ニ屬スル職權ハ外務農商務兩大臣之ヲ行フ

附　則

第九條　本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十條　本法施行以前ニ於テ條約又ハ許可ニ依リ外國領海ニ於ケル水產動植物ノ採捕其ノ製造又ハ販賣ノ業ニ關シ外務農商務兩大臣ノ認可ヲ經テ設置シタル組合又ハ組合聯合會ニシテ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命

令ノ規定ニ牴觸セサルモノハ第三條ニ依リ設置シタルモノト看做ス

○議長（公爵近衞篤麿君）　此案ノ委員モ議長指名デ御異議ゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　議院法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

（猪木書記官朗讀）

議院法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十五年二月二十二日　衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

議院法中左ノ通改正ス

第四十九條ヲ左ノ如ク改ム

第四十九條ノ一　質問主意書ハ議長之ヲ政府ニ轉送スヘシ

國務大臣ハ質問主意書ヲ受領シタル日又ハ次ノ會議日議院ニ出席シテ之ニ答辯スヘシ若出席スル能ハサルトキハ答辯スヘキ時日ヲ指定シ之ヲ議院ニ通報スヘシ

第四十九條ノ二　國務大臣自ラ出席シテ答辯スル能ハサルトキハ其ノ理由ヲ示明シ文書ヲ以テ答辯スルコトヲ得

第四十九條ノ三　前條ノ場合ニ於テ國務大臣ノ答辯要領ヲ得サルトキハ議員ハ國務大臣ノ出席說明ヲ請求スルコトヲ得

國務大臣ハ前項ノ請求ヲ受領シタル日又ハ次ノ會議日議院ニ出席シテ之ヲ說明スヘシ若出席スル能ハサルトキハ出席スヘキ時日ヲ指定シ之ヲ議院ニ通報スヘシ

第四十九條ノ四　國務大臣答辯ヲ爲ササルトキハ其ノ理由ヲ示明シ質問主意書ヲ受領シタル次ノ會議日迄ニ之ヲ議院ニ通報スヘシ

（政府委員奥田義人君演壇ニ登ル）

○政府委員（奥田義人君）　本案ハ御手許ニアル所ノ議案ニ依ッテ御承知アラセラレテ居リマス通ニ議院法ノ第四十九條ニ改正ヲ加ヘマシテ、議員ヨリ提出ニナッタ質問ニ對シテ政府ガ答辯ヲ致シマスルニ當ッテハ國務大臣ガ出席ノ上答辯ヲスルト云フコトノ期日ヲ限定致シマスノト、若シ又答辯ガ要領ヲ得ナカッタトキニ當ッテハ議院ハ國務大臣ニ對シテ出席ヲ要求スルコトガ出來ルト云フ規定ヲ置カウト云フ主意ニ外ナラヌノデアリマス、然ル處ガ斯ノ如キ事柄ハ御承知ノ通、現行法ノ第四十九條及第五十條ニ依ッテ十分ニ運用ノ出來ルコトデアリマスルノデ、政府ハ不必要ナル改正ト信ジマシテ、衆議院ニ於キマシテハ反對ノ意思ヲ述ベテ置キマシタニ依ッテ、御參考マデニ一言致シテ置キマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　是モ議長指名ノ委員デ宜シウゴザイマスカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　市會町村會議員ノ選擧人等級ニ關スル法律案、男爵末松謙澄君提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、是ハ便宜上次ノ日程ト一緒ニ報告ニナル方ガ宜カラウト思ヒマス

（左ノ報告書及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

市會町村會議員ノ選擧人等級ニ關スル法律案

右別冊ノ通リ修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年二月二十五日

右特別委員長

伯爵清棲家教

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

市制町村制ニ依リ市會町村會議員選擧人ノ等級ヲ定ムル場合ニ於テ每級選擧人ノ員數ハ三名ヲ下ルコトヲ得ス

市會議員一級選擧人ノ納額選擧人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ヲ超過スルトキハ其ノ他ノ選擧人ノ納ムル總額ヲ二分シテ二級三級ヲ定ムヘシ

郡費分賦ノ件ニ關スル法律案

右別冊ノ通リ修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年二月二十五日

右特別委員長

伯爵清棲家教

郡制第九十條ニ依リ郡費分賦ノ割合ヲ定ムルニ當リ當該年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額前前年度ニ比シ四分ノ一以上ヲ增減スヘキ事故ヲ生シタル町村アルトキハ其ノ增減額ヲ加除シタル額ヲ以テ割合ヲ定ムヘシ

（伯爵清棲家教君演壇ニ登ル）

○伯爵清棲家敎君　本案ノ委員會ノ經過竝結果ヲ申上ゲマス、委員會ハ兩度開キマシテゴザイマシテ、遂ニ皆サンノ御手許ニゴザイマスルガ如キ修正ヲ致シタノデゴザイマス、併ナガラ末松男爵ノ提出サレマシタ案ト委員會ニ於テ修正致シマシタ案トハ趣旨ニ於キマシテハ少モ相違ハナイノデゴザイマス、却テ末松男爵ノ憂ヘラレル所ヲ十分明ニシタト云フニ止リマス、過日本議場ニ於キマシテ末松男爵ヨリ理由ヲ辯ゼラレマシテゴザイマスルカラ重テ私カラ其理由ハ申上ゲマセヌデゴザイマスルガ、卽チ理由書ニ書イテゴザイマスル通ノ次第デ、今日ハ市制ノ十三條ニ依リマシテ三級ニ選擧ヲ分ケテ居リマスルケレドモ、事實差支ヲ生ジマスルタメニ已ムヲ得ズ二級ニナッテ居ル場所モ出來テ居ルト云フヤウナ次第デゴザイマスルカラ、ソレ故ニ此法案ヲ提出サレマシタ次第デゴザイマス、就キマシテ委員會ニ於キマシテ一二ノ質問ガゴザイマシタカラ、ソレヲ先ニ申上ゲマセウ、ソレハ第一、政府ニ於キマシテハ市制町村制ノ改正ノ必要ヲ認メラレテ此頃調査中デアルト云フコトヲ聞イテ居ルガ如何デアルカ、又近イ內ニ議會ニ提出サレルノデアルカト云フ質問デゴザイマシタガ、政府委員ノ答辯ハ市制町村制ニ附イテ現今ノ所デハ不都合ヲ認メテ居ルデ、調査中デハアルガ未ダ提出ノ場合ニハ至ラヌト云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ此案ノ如キ事實不都合ト云フコトハ政府ニ於テモ認メテ居ルカト云フコトヲ尋ネマシタラ、政府ニ於テモ現ニ事實不都合ト認メテ居ルニ依ッテ此案ニハ同意スルト云フコトデアリマシタ、尙ホ又委員會ニ於テ斯ノ如ク修正ニナッタニ附イテハ同意デアルヤ否ヤト云フコトモ尋ネマシタ所ガ、是モ全然同意デアルト云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ修正ニナリマシタ大體ヲ簡短ニ申上ゲマスガ、末松男爵ノ提出サレマシタノハ矢張此「二人迄ヲ」ニ云々ト居フコトニナッテ居リマス、然ルヲ委員會ニ於テハ「三名ヲ下ルコトヲ得ス」ト云フコトニ修正シタノデゴザイマス、是ハ末松男爵ヨリ提出ニナリマシタ通デモ疑ハアリマセヌケレドモ、併ナガラ極ク明瞭ニ致シマスニ附キマシテ矢張「每級選擧人ノ員數ハ三名ヲ下ルコトヲ得ス」卽チ三名デナケレバ一級ヲ組織スルコトガ出來ヌト云フコトニ修正シタノデゴザイマス、ソレデ選擧人ノ總員ノ三分ノ一以上ノ納額アルモノヲ一級トシテ其殘ノ納稅額ヲ二分シテ二級三級ヲ組織スルト斯ウ云フコトニシタノデゴザイマス、ソレデ固ヨリ此市制ノ十三條ノ本條ニ依リマシテ三級ヲ組織スル場合ハ固ヨリ本條ニ依ッテ組織シマスガ、若シモ三級組織デアルニモ拘ラズ若シモ納稅額三分ノ二以上ノ者ガアルト云フ如キ場合ニハ此單行法ニ依ッテ處分ヲシヤウト斯ウ云フ主意ニ外ナラヌノデゴザイマス、尙ホ又若モ一級ヲ取リマシタアト卽チ爾餘ノ二級三級ニ於キマシテ端數ヲ生ジタトキニハドウスルカト云フ御疑ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ卽チ本條ニ依ッテ上級ト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、唯今申上ゲタヤウナ譯デ末松男爵ノ提出セラレタ案ト委員會ニ於テ修正シマシタ所トハ決シテ意味ニ於テハ異リハアリマセヌ、却テ意味ヲ明瞭ニシタト云フニ止リマス、ソレカラ過日末松君ノ申サレマシタ如ク事實ニ於テハ文字ノ如ク三級制度デアルニモ拘ラズ今日ハ二級ヨリ組織シテ居ラヌト云フコトニ附イテハ政府委員ニ問ヒマシタラ、矢張是モ事實サウ云フコトニナッテ居ルト云フコトデゴザイマス、大略唯今申上ゲマシタヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ御質問ガゴザイマスレバ本員ノ承知致シテ居ルダケハ申上ゲル考デゴザイマス、尙ホ次ノ日程ニゴザイマスル郡費分賦ノ件ニ關スル法律案、是モ委員會ニ於キマシテ審査ヲ致シマシタガ、是モ政府ニ於テ同意スルヤ否ヤヲ聞キマシタ所ガ、如何ニモ不都合ヲ認メテ居ルニ附イテ同意スルト云フコトデゴザイマシタ、ソレデ修正ヲ致シマシタ大體ハ末松君ノ案デゴザイマスルト「減少額ヲ控除シ」云々トゴザイマス、故ニ或ル町村ニ大キナル富豪ノ如キモノガアリマシテ、ソレガ他ノ町村ニ行キマストキニハ其町村ノ費用ト云フモノハ法律ニ依リマシテ前々年度ノ額ヲ割當テルト云フコトニナリマシタガタメニ非常ニ多クナル、財產家ノ如キ者ガ他ノ町村ニ參リマシタトキニハ其町村ハ非常ニ迷惑ヲスルニ依ッテ「減少スルコト」ト云フコトニ直シタイト云フ末松君ノ精神デアリマシタ、然ルニ唯減ジタトキノミデハ宜シクナイダラウ、故ニ增シタトキニモ前々年度ノ決算ニ依ッテヤルコトヲ明瞭ニシタ方ガ宜カラウ、故ニ「增減」ト云フコトニ「增」ノ字ヲ入レマシタノデゴザイマス、ソレカラ「明白ナル」ト云フコトニ附キマシテハ、或ハ明瞭デアルトカナイトカ云フコトガ生ジテハ宜シクナイト云フノデ、是ハ消除シタ方ガ宜カラウト云フノデ削除ニナリマシタ、他ノ修正ハ大シテ是ト云フ理由モゴザイマセヌ、斯ウシタ方ガ能ク分ルト云フノデ斯ノ如ク修正シマシタ、是モ尙ホ御質問ガゴザイマスレバ本員ノ承知シテ居ルダケハ本員ヨリ御答ヲシマスガ、修正ノ點ハ修正ヲ提出サレマシタ委員ヨリ詳シク御答辯ヲ願フコトニシマス

○子爵曾我祐準君　此先ノ案ノ方デゴザイマスガ、是ガ可決シマスト施行法ハドウ云フ風ニナリマス、次ノ選擧カラト云フコトハ言ハズトソレデ宜シイノデアリマスカ

○伯爵清棲家教君　ソレデ宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君　十四號ニ依ルノデスカ

○伯爵清棲家教君　是ハ法律ガ發布ニナリマスレバ法令ニ依リマシテ幾日間ニ效力ヲ持ツト云フコトガゴザイマスカラソレデ宜シイ積リデゴザイマス

○子爵曾我祐準君　次ノ選擧カラ斯ウ云フコトニナリマスレバ今現在法ニ依ッテ選擧ニナッテ居ル者ハ權利ヲ失ハナイノデゴザイマスナ、次ノ選擧カラデアリマスナ

○伯爵清棲家教君　左樣デゴザイマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　別段御發議ナクバ採決シマス、先ヅ第十四、市會町村會議員ノ選擧人等級ニ關スル法律案、本案ヲ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長（公爵近衞篤麿君）　過半數ト認メマス

○伯爵清棲家教君　議事日程ヲ變更シマシテ二讀會ヲ直チニ開カレンコトヲ……

○議長（公爵近衞篤麿君）　直チニ二讀會ニ移シテ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衞篤麿君）　二讀會ニ移リマス、委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衞篤麿君）　ソレデハ其通決シマス

○伯爵清棲家教君　直チニ三讀會ヲ……

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衞篤麿君）　三讀會ニ移シテ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衞篤麿君）　三讀會ニ移リマス、本案御異議ナクバ原案ニ決シマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　次ハ郡費分賦ノ件ニ關スル法律案、二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長（公爵近衞篤麿君）　過半數ト認メマス

○伯爵清棲家教君　直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ

○議長（公爵近衞篤麿君）　二讀會ニ移シテ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衞篤麿君）　二讀會ニ移リマス、委員會ノ修正デ御異議アリマセヌカ……ソレデハ其通ニ決シマス

○伯爵清棲家教君　直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ……

○議長（公爵近衞篤麿君）　ソレデハ三讀會ヲ開クコトニ致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衞篤麿君）　御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　次ハ第十六ヨリ三十九マデ二十四件、之ヲ束ネテ問題ニ供シマス

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ揭載ス〕

意見書案

舞鶴線鐵道速成ニ關スル件

阪鶴鐵道株式會社長南清呈出

右ノ請願ハ舞鶴港ハ僅々二十餘哩ノ鐵道未成線アルカ爲海陸ノ聯絡ヲ闕ケリ是レ京都鐵道株式會社カ該區間ノ免狀ヲ實行セサルニ原因スルモノナルヲ以テ政府ハ速ニ右未成線ヲ買收シ福知山舞鶴間二十餘哩間ノ鐵道工事ヲ施行セラレタク若政府ニ於テ著手スル能ハサル事情アレハ政府監督ノ下ニ阪鶴鐵道會社ヲシテ之ヲ經營セシメ七箇年間相當ノ補給利子ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

富山直江津間鐵道速成ノ件

新潟縣古志郡長岡町平民岸宇吉外八十六名呈出

右ノ請願ハ北越ノ地タルヤ古來米產ヲ以テ鳴リ而シテ近時ニ至リテ石油生絲絹織物等ノ輸出及生綿綿絲砂糖鹽石炭諸器械空俵等ノ輸入モ亦其ノ額少

シトセス然ルニ之カ運輸ハ僅ニ信越及日本兩鐵道ニ依テ京濱ニ達スルノ一線路アルノミニシテ其ノ關係ノ最親密ナル關西及北海道ニ對シテハ悉ク不便不安ナル海運ニ依ラサルヘカラス秋冬二季ニ際シテハ殆ト運輸ノ杜塞サルルヲ以テ常トス而シテ東北ニ向テハ目下工事中ニアル岩越鐵道ノ竣功ヲ告クヘキモノアルヲ以テ前途頗ル多望ナルモ關西ニ向テハ北陸北越兩鐵道ノ中間直江津ヨリ富山ニ至ル三十里間未タ現實ニ鐵道敷設ノ企圖セラルルモノナク爲ニ北越商工業ノ進歩發達ヲ阻害スルコト殊ニ甚シトス依テ直江津富山間鐵道ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別册及送付候也

明治三十五年二月　日　　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

大家村ニ電信局開設ノ件

島根縣邇摩郡大家村村長渡眞澄外九十一名呈出

右ノ請願ハ島根縣邇摩郡大家村ハ本郡西部ノ大邑ニシテ國道東西ニ貫通シ商工取引頗頻繁ヲ極メ警備地方トノ往來甚多シ然ルニ電信局所在地ヲ距ルコト五六里ニ及ヒ日常ノ不便名狀スヘカラサルヲ以テ速ニ電信局ヲ開設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別册及送付候也

明治三十五年二月　日　　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

今市村ニ電信局開設ノ件

島根縣那賀郡今市村村長山崎定道外四十一名呈出

右ノ請願ハ島根縣那賀郡今市村ハ濱田ヨリ廣島ニ通スル國道ニ沿ヒ區裁判所出張所及商工諸會社アリ取引頻繁ヲ極ム然ルニ既設電信局ヲ距ルコト五六里ニ及ヒ不便名狀スヘカラサルヲ以テ速ニ電信局ヲ開設アリタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別册及送付候也

明治三十五年二月　日　　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

市山郵便局ニ電信局併置ノ件

島根縣邑智郡市山村平民山根權五郎外四十六名呈出

右ノ請願ハ島根縣邑智郡市山村ハ古來ノ商業地ニシテ溫泉津江津附近及鄉川以東ノ地方及京阪廣島地方間交通ノ要路ニ當リ物產ノ集散旅客ノ往來頗頻繁ナリ然ルニ本郡ハ元ト山嶽多ク道路嶮惡ニシテ郵便ノ交通モ亦甚不便ナリ依テ此ノ闕點ヲ補フカ爲市山郵便局ニ電信局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別册及送付候也

明治三十五年二月　日　　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

北海道鐵道速成ノ件

北海道小樽區色內町平民金子元三郎外八十六名呈出

右ノ請願ハ函館小樽間ニ於ケル鐵道ノ敷設ハ拓殖上軍事上最緊要ニシテ速成ヲ要スルモノナリ然ルニ之カ經營ノ任ニ當ル北海道鐵道株式會社ノ工事ヲ見ルニ進行遲緩ニシテ其ノ成功何ノ日ニアルヤ得テ知ルヘカラサルノ現狀ナリ是レ畢竟經濟界疲弊ノ影響ヲ被リタルニ因ルヘシト雖亦本鐵道ノ性質上全線竣功ノ日ヲ俟ツニアラサレハ收益ヲ見ルコト能ハサルニ因ルコトハ少シク本道ノ事情ニ通スル者ノ皆首肯スル所ナリ果シテ然ラハ本鐵道ハ寧政府自ラ之カ經營ノ任ニ當ルヲ至當トスルカ如キ性質ヲ有スルモノナルヲ以テ該鐵道會社ニ成功年限短縮ヲ條件トシテ相當補助ノ特典ヲ與ヘ之ヲ速成セシムルノ處置アリタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別册及送付候也

明治三十五年二月　日　　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

足尾銅山鑛毒被害民救護ノ件

東京市神田區錦町士族高橋秀臣外十五名呈出

右ノ請願ハ栃木縣足尾銅山鑛毒ノ爲一府五縣ニ亙ル田畑ノ被害及人民窮苦ノ狀態ハ既ニ各種ノ調查鑑定等ニ依リ明白トナレルニ拘ラス政府當局

者ハ猶未タ救濟保護方法ヲ設ルニ至ラス斯ノ如ク荏苒放置スルニ於テハ數年ヲ出テス慘狀更ニ今日ヨリ甚キモノアラムトス故ニ政府ヲ促シテ被害地復舊被害民救護ノ實ヲ擧ケシメ且現行法規ノ厲行ヲ政府ニ責メ以テ向後斯ノ如キ失政ナカラシムルコトニ盡力セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

京都鐵道急設ノ件

京都商業會議所會頭西村治兵衞呈出

京都市參事會京都市長內貴甚三郎呈出

右ノ請願ハ京都舞鶴間ハ國家樞要ノ線路ニシテ僅々三十七哩ヲ敷設スルトキハ能ク東海道幹線ト日本海ノ要所トヲ接續スルヲ得ルノミナラス三丹地方ノ產業發達ニ資スルコトモ亦尠少ナラサルヘシ況ヤ舞鶴鎭守府モ既ニ開廳セラレ西伯利亞鐵道モ既ニ開通セラレタルニ於テヲヤ故ニ政府ニ於テ右未成線ヲ完成スルノ手段ヲ講セラルヽカ又ハ京都鐵道株式會社ニ相當ノ補助金ヲ下附シテ之ヲ急設セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

青森開港ノ件

青森縣青森市長工藤卓爾呈出

右ノ請願ハ青森港ハ陸奥灣中ニ在リテ極メテ開港場タルニ適スルモ同灣中ニ在ル大港カ未タ軍港ト指定セラルルヤ否ヤ確定セサル間ハ之ヲ貿易港ト爲ス能ハストノ說アリ是レ實地ニ適セサルノ論ト謂フヘシ青森港ト大港トハ同シク陸奥灣內ニ在リト雖相距ルコト實ニ二十里ニ餘リ且夏泊崎其ノ中間ニ斗出シテ灣內ヲ分劃シ所謂野邊地灣青森灣ヲ形成ス故ニ青森港ヲ貿易港トスルモ毫モ大港ノ軍港タルヲ害セサルコト猶東京灣中ニ橫須賀橫濱ノ兩存シ紀淡砲臺ノ下ニ神戶ノ在ルカ如シ又青森港ハ之ヲ貿易港トナスモ貿易品ナカルヘシトノ說ヲ爲スモノアルモ現ニ函館ヲ經由シテ魯領ヨリ本港ニ輸入スル巨額ノ魚類ハ本港ニ直接輸入セラルルニ至ルヘク秋田縣ノ硫黃本縣及秋田山形諸縣ノ米穀若ハ食牛ノ輸出等其ノ數額實ニ莫大ニシテ決シテ貿易品ノ少キヲ憂ヘサルナリ斯ノ如クナルヲ以テ他ノ指定貿易港ト同ク勅令ヲ以テ青森ヲ貿易港ニ追加セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

波多村ニ區裁判所出張所設置ノ件

島根縣飯石郡波多村長本間岱造外三十五名呈出

右ノ請願ハ島根縣飯石郡波多村ハ交通不便ニシテ殊ニ冬時積雪ノ候ニ際シテハ時ニ他トノ往來杜絕スルコトアリ然ニ登記所ノ所在地ハ本村ヲ距ルコト遠ク百般ノ事實益〻繁劇ニ趣クノ今日ニ當リテハ其ノ不便殊ニ甚キヲ以テ波多村ニ區裁判所出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

非命ノ死人救護ノ件

栃木縣足利郡吾妻村平民內藤增次郎外二十名呈出

同縣同郡久野村平民稻村忠藏外七十三名呈出

同縣安蘇郡植野村平民關口幸八外三十七名呈出(二通)

群馬縣邑樂郡伊奈良村平民山岸淳三郎外十六名呈出

右ノ請願ハ足尾銅山ノ鑛毒劇甚ナルヲ以テ曩ニ之カ救濟方法ヲ講セラレ度旨政府ニ請願セシモ未タ何等ノ施設ナク被害民ノ困難益〻大ナルニ付政府ヲシテ速ニ之カ救濟ヲ實行セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

鐵道敷設法中第一期線ニ繰上ノ件

岐阜縣大野郡山之口村村長青木相助外三十二名呈出

右ノ請願ハ飛驒國ハ交通ノ不便甚ク其ノ富源ノ開發ハ一ニ之ヲ鐵道ノ敷設ニ俟タサルヘカラサルノミナラス飛驒線ハ軍事上ノ利便ト安全トニ於テモ遙ニ越賀富山間ノ線路ニ優ルモノアリ故ニ鐵道敷設法第二條ノ「岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道前項ノ線路ヨリ分岐シ若ハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道」ヲ第一期線ニ繰上ケ急速敷設アリタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

商法中改正ノ件

四日市商業會議所會頭井島茂作呈出

金澤商業會議所會頭水登勇太郎呈出

右ノ請願ハ商法第五百二十五條ハ約束手形ノ形式的要件ヲ列擧シ振出地ノ記載ヲ以テ其ノ一ニ加ヘタリ然ルニ振出地ノ記載方法ニ關シテハ法曹界ノ議論紛々トシテ定マラス甲裁判所ニ於テハ有效ト判決シタルモノモ乙裁判所ニ於テハ之ヲ無效ト判決シ以テ手形取引ノ圓滑ヲ阻害シ經濟界ヲ擾亂セムトス是レ明ニ法文ノ不備ナルカ爲ニ外ナラサルカ故ニ此ノ際適當ノ改正ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

會計法竝會計規則改正ノ件

金澤商業會議所會頭水登勇太郎呈出

右ノ請願ハ現行會計法ハ十數年前ノ制定ニ係リ今日ノ時勢ニ適セサル箇所少カラサルニ付(一)官吏ノ權能ヲ自由ニシテ技能ヲ施スノ餘地アラシメ而シテ商估ニ信用ヲ置キ便宜ヲ得セシメ以テ誠實ナル競爭若ハ供給ヲ爲サシメ(二)公告入札ノ方法ハ其ノ名公平ナレトモ其ノ實弊害甚シキヲ以テ之ヲ矯正スルカ爲指名入札ヲ設ケ(三)會計年度締切ノ際ニ於ケル繰越金ノ範圍狹隘ナルカ爲剩餘金ノ處分ニ若干年度ノ終リニ至リ徒ニ不用ノ物品ヲ購入スルノ弊ヲ生スルヲ以テ繰越金ノ範圍ヲ擴メ(四)內國商工業保護奬勵ノ爲他日海關協定率ノ改正行ルル迄內地ニ於ル特定ノ生產品購買ヲ隨意契約ノ範圍內ニ加ヘ且之ニ對シ前金拂ヲ爲スコトヲ許シ(五)現行會計法ハ軍艦ニ限リ隨意契約購入ヲ許スモ他ノ艦船ト雖其ノ製造ニハ莫大ノ資金ト長日月トヲ要シ且單ニ代價ノ低廉ノミヲ以テ足レリトスヘカラサルヲ以テ之ヲ隨意契約ノ範圍ニ加ヘ(六)入札又ハ契約ノ保證金ヲ現金若ハ公債證書ニ限ルハ不便ナルヲ以テ國庫金取扱銀行ノ預金券及日本銀行ノ擔保トナルヘキ有價證券ヲモ代用スルコトヲ得セシメ(七)工事請負ト物品供給トハ之ヲ同一視セス內拂金及違約保證金處分ノ條項ニ於テ之カ區別ヲ爲シ(八)入札公告ノ期間ヲ十五日以前トセシハ短ニ過キ之ニ應シ難キ場合アリ故ニ內國注文ト海外注文トヲ區別シテ相當期間ノ猶豫ヲ與ヘ(九)從來官廳ニ於ケル賣買貸借契約ハ官廳ニ便ニシテ請負商人ニ酷ナリ故ニ契約書ニハ必ス相互ノ違約處分及檢查結了期限竝代金支拂期限ヲ規定スヘキモノト爲シ(十)官廳ニ依リテハ單ニ違約ノ際ハ保證金全部ヲ沒收スト規定シ內納トナリタルモノニ對スル保證金ノ處分ヲ規定セス爲ニ十分ノ九迄檢查結了濟ニテ納入セルモ其ノ殘十分ノ一ノ未納ノ爲保證金全部ヲ沒收セラルルハ供給者ノ甚シク迷惑トスル所ナリ故ニ物件內納部分ニ對スル保證金ノ割戻ヲ許可シ(十一)現行法規中物件物品又ハ製造等ノ文字ヲ用ヒ一定セサルヲ以テ普通ノ場合ニハ都テ之ヲ物件ト改メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

矢作川改修ノ件

愛知縣西加茂郡根川村平民鈴村利兵外三十七名呈出

同縣同郡擧母町士族草野半外三百二名呈出

同縣幡豆郡西尾町平民鈴木友治郎外七百九十二名呈出
同縣額田郡相見村平民足立政次郎外四百七十二名呈出
右ノ請願ハ矢作川ハ三河國三大川中ノ最大流ニシテ五郡ノ地ニ蜿蜒屈曲シ灌漑ノ利運輸ノ便他川ノ比ニアラス然レトモ其ノ曲折多キカ爲洪水汎濫シ人民ノ慘害ヲ被ルコト極テ甚トス而シテ從來地方費ヲ以テ治水ノ工事ヲ營ミ來リタルモ財力足ラサルヲ以テ砂防工事ノ如キハ每ニ姑息ニ陷リ之カ爲水利ハ倏忽ニシテ水害ニ變スルヲ常トス依テ速ニ國費ヲ以テ河身ヲ改修セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

富山直江津間鐵道急設ノ件

金澤商業會議所會頭水登勇太郎呈出

右ノ請願ハ富山直江津間僅々七十餘哩間ノ鐵道ハ北陸ノ要衝ニ當ルヲ以テ之ヲ完成セムカ舟航危險ニシテ交通不便ナル北陸地方ノ發達ヲ促スコト顯著ナルヘキハ勿論實ニ帝國本州ノ帶貫鐵道ノ一タリ況ムヤ北陸ノ地タル一葦帶水ヲ隔テ、露領西比利亞ト相對シ伏木及七尾ノ二外國貿易港アルヲ以テ將來彼我ノ關係漸ク多事ナラムトスルニ於テヲヤ故ニ該線路ヲ第一期線ニ組込ミ急速工事ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別册及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

木曾長良揖斐三大川上流改修ノ件

岐阜縣稻葉郡木田村平民春日善一外千二百六名呈出

木曾長良揖斐ノ三大川ハ一朝降雨ニ際スレハ忽チ洪水漲溢シ餘害ヲ尾勢二州ニ被ラシムルコト大ナリシヲ以テ政府ハ曩ニ三大川分流ノ工事ヲ起シ今ヤ下流ノ改修ハ將ニ竣功ヲ告ムトス然レトモ上流ノ改修ニシテ行ハレサルニ於テハ未其ノ治水事業ノ完成シタルモノト謂フヘカラス聞ク所ニ依レハ政府ニ於テモ之カ必要ヲ認メ既ニ其ノ實地ノ測量ヲ了セリト果シテ然ラハ政府ヲシテ急速當議會ヘ其ノ設計豫算ヲ提出セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別册及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

鐵道敷設法中追加ノ件

愛知縣渥美郡豐橋町平民遠藤安太郎君外五名呈出

右ノ請願ハ信濃國上下伊那ノ地タル物產豐饒就中生絲ノ產出ニ至リテハ全國ノ首位ヲ占ムルモ山岳圍繞シ三河國北部トノ交通開ケス僅ニ舟筏ニ賴ルノ狀況ニシテ豐富ナル利澤モ發展スル能ハス故ニ此ノ間ニ於テ信三二國ヲ連絡スルノ鐵道ヲ敷設スルハ頗ル急要ナリ且三河國豐橋ノ地タル東海道ノ中樞ニ位シ殊ニ旅團本部ノ設置アルヲ以テ此ノ地ニ於テ中央東海二線ノ連絡ヲ闕クハ實ニ帝國ノ不幸ナリトス加之彼ノ中央線ト直江津線トヲ連絡スル篠井線ハ信濃國辰野ニ於テ中央線ト接續スルヲ以テ更ニ辰野ニ起リテ同國飯田ヲ經テ私設鐵道豐川線ニ連絡スルノ一線ヲ敷設セハ之ニ直江津篠井及豐川ノ三線ヲ併セテ首尾接續一貫シ帝國中央ノ幅員最廣キ部分ニ於テ南北橫斷線トナルヘシ故ニ本請願ノ線路ハ單リ東海道線ト中央線トヲ連絡スルノミナラス又直ニ日本海ト太平洋トヲ連絡スルモノニシテ軍事上及殖產上ニ於テ至大ノ便利ヲ與フヘキモノナルヲ以テ長野縣下辰野ヨリ飯田及三河國津具ヲ經テ同國南設樂郡大海ニ至ルノ鐵道ヲ鐵道敷設法中ニ追加セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別册及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

羽越鐵道速成ノ件

山形縣山形市上町平民石澤市藏外四百十六名呈出

同縣米澤市新町士族森下彌兵衞外三千七百五十六名呈出

右ノ請願ハ羽越線ノ位置タル一方ニハ奥羽線青森ヨリ米澤ヲ經北越ニ至リ北陸線ニ連絡シテ京阪地方ニ達スル北部唯一ノ大幹線ヲ形成シ一方ニハ奥

州線福島ヨリ北越ニ達スル横幹線ヲ形成シ奥州及東海道ノ幹線ト兩々相俟テ本邦二箇ノ大動脈線ト成リ經濟上及國防上ニ裨益スル所頗ル大ナルモノアリ而テ此ノ線路ニ由リ北陸線ニ連絡シテ京阪ノ地ニ達スルノ里程ハ彼ノ奥州線及東海道線トヲ經由スル里程ニ比シ殆ト百數十哩ヲ減縮スルノ利アリ故ニ速ニ羽越線ノ敷設ヲ起工アリタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

内閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

頓原村ニ電信局開設ノ件

島根縣飯石郡頓原村平民片岡逸外八十八名呈出

右ノ請願ハ島根縣飯石郡頓原村ハ郡内有數ノ市街地ニシテ國道貫通シ區裁判所出張所及商工諸會社アリ各地トノ商業取引最頻繁ヲ極ム然ルニ既設電信局所在地ヲ距ルコト頗ル遠ク不便名狀スヘカラサルヲ以テ速ニ當村ニ電信局ヲ開設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

内閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

電信局設置ノ件

山口縣豐浦郡小串村村長磯部國四郎呈出

右ノ請願ハ山口縣豐浦郡小串村ハ戸數八百ニ達セムトシ且附近ニ密集部落多ク郡中西北部ノ人畜貨物ハ皆此ノ地ニ由テ出入シ就中他地方ニ對スル水產物ノ大集散市場ニシテ殊ニ遠洋漁業奬勵ノ結果當地方ヨリ對馬朝鮮沿海ニ出漁スル者益〻多ク一層電信局設置ノ必要ヲ感ス幸ニ當村ニハ下ノ關ヨリ角島ニ通スル軍用既設電信線アルヲ以テ之ヲ應用スルノ途アラハ之ヲ利用シテ速ニ電信局ヲ當村ニ開設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

内閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

有福村ニ區裁判所出張所設置ノ件

島根縣那賀郡有福村村長千代延保貞治外四十五名呈出

右ノ請願ハ島根縣那賀郡有福村ハ濱田港江津港ノ中間ニ位シ南部各村ニ通スル要樞ニ當リ人烟繁盛ニシテ本郡東部ノ大邑ナリ然ルニ登記所ノ管轄區域ハ濱田區裁判所ニ屬スルヲ以テ道程頗ル遠ク百般ノ人事益〻繁縟ヲ來タスノ今日ニ當リ不動產ノ登記上不便尠カラサルヲ以テ本村ニ區裁判所出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

内閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

日本郵船株式會社ノ神戸小樽間定期航路變更ノ件

山形縣飽海郡酒田町平民本間長太郎外十七名呈出

右ノ請願ハ從來日本郵船株式會社ノ神戸小樽間ノ定期航路ハ一回ハ神戸ヨリ北陸各港ヲ經由シテ小樽ニ至リ更ニ此ノ航路ヲ歸航シ一回ハ神戸ヨリ北陸各港ヲ經由シテ函館ニ至リ函館ヨリ横濱ヲ經テ神戸ニ歸航シタルヲ以テ伏木以北ノ諸港ト關東地方トノ間ニ於ル貨物輸送上便利極テ大ナリシニ昨年十月以降同會社ハ函館ヨリ横濱ヲ經テ神戸ニ歸航スル所謂東廻リノ航路ヲ廢止シ二回トモ單ニ日本海岸ニ於テ神戸小樽間ヲ往復スルコトニ改メタルヲ以テ伏木以北各港ト關東トノ間ニ於ル運輸上ノ聯絡ヲ闕キ貨物ヲ澁滯セシムルコト甚キヲ見ルニ至レリ因テ從來ノ通リ東廻リ航路ヲ復舊セシムルカ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ定期航路ヲ開始セラレタシトノ趣旨ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十五年二月　日　貴族院議長公爵近衞篤麿

内閣總理大臣子爵桂太郎殿

意見書案

裁判所構成法及民事訴訟法中改正ノ件

新潟縣新潟市學校町通平民杉村卯之吉呈出

右ノ請願ハ裁判所構成法及民事訴訟法中ノ改正ヲ要望スルモノニシテ（一）

裁判所構成法第十四條第一號ハ事物ノ管轄ヲ定ムルモ其ノ第二號ニ掲クルモノノ如キハ價額ヲ問ハサルニ拘ラス却テ至難ノ事件タルコト明ナリ然ラハ則第一號ニ於テ金額又ハ價額ヲ百圓ニ制限スルハ其ノ當ヲ得ス而シテ此ノ制限ヲ廢セハ區裁判所ハ能ク地方裁判所ノ三倍ノ事務ヲ取扱フヲ得ヘク之ニ由テ判事ノ員數ヲ減少シ以テ歳費節約ノ一助トスヘク又訴訟手續上ヨリスルモ之ヲ區裁判所ノ管轄ニ屬セシメハ規定上短期間ニ判決ヲ下シ得ルノ結果トナルヘク其ノ他右ノ如ク訴訟ノ落著ヲ早クスルカ故ニ能ク權利者ヲ保護スルコトヲ得ヘシ依テ右第一號ヲ單ニ金額又ハ金額ニ見積ルコトヲ得ヘキ物ニ關スル請求」ト改メ(二)現行刑法ノ規定ハ二月以上ノ刑期多キ故ニ區裁判所ノ權限ヲ擴張セハ是レ亦裁判事務ノ進渉其ノ他ノ利益ヲ得ヘク而シテ特ニ罰金刑ハ其ノ額ニ拘ラス區裁判所ノ管轄ニ屬セシムルハ頗ル當ヲ得タルモノナルヘシ依テ裁判所構成法第十六條第二號ヲ改メ五箇月以下ノ禁錮又ハ單ニ罰金ニ該ルモノハ之ヲ區裁判所ノ裁判權ニ屬セシメ(三)裁判所構成法第十六條第三號ニ依レハ區裁判所ハ或ルモノヲ除キ二年以下ノ禁錮ニ該ルモノニ關シ輕減スヘキ情狀ノ認定ニ由リ檢事局ヨリ移付シタルモノニ付裁判權アルモ現行刑法ニ依レハ長期二年以上ノモノ多ク是等ハ酌量減輕等ニ由リ二月以下ノ刑ニ處スルヲ至當ト認ムルモノト雖長期ノ制限アルカ爲之ヲ地方裁判所ノ管轄ニ屬セシメサルヘカラサルニ至ル依テ同號ヲ改テ此ノ長期ノ制限ヲ廢シ(一)ニ掲ケタル改正ノ旨趣ニ基キ單ニ五箇月以下ノ刑ニ處スヘシト認テ移付シタルモノニ付區裁判所ノ裁判權ヲ認メ又第十六號第三號罰金ニ關スル規定ハ是亦(二)ニ掲クル改正ノ旨趣ニ基キ之ヲ同號ニ掲ケサルコトトシ(四)合議裁判ノ神聖ヲ保ツ爲民事訴訟法第百八條ヲ改正シ同條ニ依リ訴訟當事者カ書記課ニ差出スヘキ準備書面ハ各審級ニ隨ヒ其ノ裁判官ノ員數ト同一ナラシメ以テ各自之ヲ携ヘ調査ヲ愼重ナラシムルノ方法ヲ採リ(五)路程ノ計算ニ關スル同法第百六十七條ノ規定ハ交通機關ノ發達セル現時ノ狀態ニ適セス徒ニ訴訟ノ進行ヲ遲延セシムルモノニ付同條ニ「定期航海船アル海路及汽車ノ便アル陸路ハ其ノ里數ニ拘ラス汽船又ハ汽車ノ往復時間ヲ豫算シ其伸長日數ヲ定ム」トノ但書ヲ追加セラレタク(六)其ノ他訴訟ノ進行ヲ計ル爲同法第百九十四條第一項ノ訴狀送達ト口頭辯論ノ期日トノ間ヲ二十日以下トシ第百九十九條第一項ノ答辯書差出期間第二百五十五條第二項故障申立期間第三百八十六條第二項支拂命令ニ記載スヘキ期間各十四日トアルヲ七日トシ第四百條ノ控訴期間及第四百三十五條ノ上告期間各三十日トアルヲ十四日ト改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴議院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別册及送付候也

明治三十五年二月　日

貴族院議長公爵近衞篤麿

內閣總理大臣子爵桂太郎殿

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　是ハ何モ採擇スベシト決シテ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　ソレデハ本日ノ議事ハ終リマシタ、先刻來御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ報道致シマス

（太田書記官長朗讀）

砂糖消費稅法中改正法律案特別委員

伯爵大原　重朝君　子爵井伊　直安君　男爵石黒　忠悳君
男爵本多　副元君　男爵吉川　重吉君　湯地　定基君
千坂　高雅君　小幡　篤次郎君　野崎　武吉郎君

商業會議所法案特別委員

伯爵坊城　俊章君　子爵青山　幸宜君　子爵永井　尙敏君
名村　泰藏君　富田鐵之助君　藤田　四郎君
武井　守正君　高橋　新吉君　田中源太郎君

輸入原料砂糖戻稅法案特別委員

伯爵正親町　實正君　子爵青木　信光君　辻　新次君
男爵調所　廣丈君　時任　爲基君　高木　兼寬君
男爵小早川　四郎君　長谷川　貞雄君　斯波與七郎君

外國領海水產組合法案特別委員

子爵鳥居　忠文君　子爵內藤　政共君　濱尾　新君
男爵赤松　則良君　村田　保君　男爵有地品之允君
男爵菊池　武臣君　男爵島津　珍彥君　磯邊　包義君

議院法中改正法律案特別委員

侯爵松平　康荘君　伯爵日野　資秀君　子爵松平　直平君
男爵加藤　弘之君　男爵南　光利君　久保田　讓君
松本　鼎君　折田　平內君　荒野由次郎君

○議長（公爵近衞篤麿君）　次ノ月曜日ニ開會致シマスルコトニ致シマス、日程ハ追テ御報道シマス

午前十一時八分散會